

# 戦争の怖さ

6年 5月

たった一つの原子爆弾で何十万人の命が無くなりました。広島に落とされた原子爆弾は「リトルボーイ」と言い原爆の強烈な熱線で当時のお金が溶けるほどでした。原爆の放射線をあびるとあっという間に周りにはいる人達がみんな「水～水をくれ～」と言っていて近くの川は死者でうまるほどでした。そして、ほかにもその当時につかっていた水筒が溶けかかっている熱線で焦げてしまったお弁当強烈な熱風でボロボロの学生服があります。広島だけではなくアメリカ軍は沖縄を占領し長崎にも「ファットマン」と言う原子爆弾を落としました。熱風でつき飛ばされて近くの木の枝に突き刺さって死んでいく人もいました。なぜ日本軍は、真珠湾にあるアメリカ軍の軍艦を攻撃したのだらうと思いました。それがきっかけでアメリカ軍は日本だけに二つも原子爆弾を落としたいらうと思いました。でも、何のために真珠湾攻撃をしたのかなあと思います。その後太平洋戦争が終わりました。そして日本は戦争をやめたけど広島・長崎に落とされた二つの原子爆弾で何十万人の人が死んでしまいました。僕は、何で日本はもっと早く戦争をやめなかったのだらうもしももっと早く戦争をやめていたらこんなに人がそんなに死ななかったと思います。そして、日本だけに落とされた二つの原子爆弾の恐ろしさがわかりました。絶対にこれからは戦争のない平和な日本がいいなあとと思いました。

